

関電電気料金値上げ問題 Q&A

【巨額の内部留保・社内埋蔵金は??】

「関電主張の内部留保」と「広義の内部留保」を比較してみました。

上表は関電発表分です。

『私たちの見解』

有価証券報告書の資産や引当金などから数値を拾い比較したのが下表です。関電主張分も中列に入れましたので検討下さい。

「何時事故が起こるか分からないから原発関連の引当金を使え」とは言い難い点もありますが・・・「他の内部留保をまず取り崩せ」は言えると思います。

再処理引当金と解体引当金は、当面3年間くらいは取り崩しも可能と思います。退職給付引当金は従業員の労働条件にも関係します。

有価証券の中身以外では、多くの関連会社をつくっているの、「上手に利益隠し」をしている可能性もあります。

例えば、他電力に比べ関電本店ビルや神戸支店ビルは超豪華な巨大資産ですが、別会社とし、関電は使用料を払って業務を行っています。

消費者からの質問に対する、関電本店の正式回答・2012/11/26

Q:現時点でどの程度の内部留保があるのか？

A:H22年末に9141億円あった内部留保が、23年末には6028億円となり、24年度末には約2800億円と急減する見込みで、このままではH25年度末には相当減少する。だから電気料金の値上げをお願いする。

関電利益剰余金残高(自己株式差し引き後)

	単位・億円	
	残高	当期増減
H22年末	9,141	
利益準備金	1,223	
その他利益準備金	8,879	
自己株式	-960	
H23年末	6,028	-3,113
利益準備金	1,223	0
その他利益準備金	5,766	-3,113
自己株式	-961	-1
H24年末予想	2,800	-3,200

H24年末予想の内訳は公表していない

関西電力の内部留保

関電主張分と電力近畿センター分析との比較

	H22 内部留保			H23 内部留保		
	有価証券報告書	関電説明	広義の内部留保	有価証券報告書	関電説明	広義の内部留保
固定負債	39,826			45,275		
退職給付引当金	3,437		3,437	3,507		3,507
使用済燃料再処理等引当金	6,660		6,660	6,564		6,564
使用済燃料再処理等準備引当金	384		384	426		426
原子力発電施設解体引当金						
資産除去債務	(4,249)			(4,347)		
流動負債	9,746			9,349		
特別法上の引当金						
湯水準備引当金	55		55	146		146
負債合計	49,627			54,770		
株主資本						
資本金	4,893			4,893		
資本剰余金	670			670		
資本準備金	670	0	670	670	0	670
利益剰余金	10,102			6,989		
利益準備金	1,223	1,223	1,223	1,223	1,223	1,223
その他利益剰余金	8,879			5,766		
海外投資等損失準備金	14	14	14	24	24	24
原価変動調整積立金	870	870	870	870	870	870
別途積立金	6,100	6,100	6,100	6,400	6,400	6,400
繰越利益剰余金	1,895	1,895	1,895	△ 1,528	△ 1,528	△ 1,528
自己株主	△ 961	△ 961	0	△ 961	△ 961	0
評価・換算差額等	244			243		
その他有価証券評価差額金	189			195		
繰延ヘッジ損益	55			49		
純資産合計	14,949			11,835		
負債純資産合計	64,576			66,605		
内部留保合計		9,141	21,308		6,028	18,302

H23年末、関電は6028億円と発表していますが、私たちは1兆8302億円有ると見えています。